

心理学関連資格 取得希望の方へ

☎通信教育部入学案内 p.28 ~ 29 も合わせてご覧ください

1 認定心理士 取得希望の方へ

●認定心理士とは

大学において心理学を学び、「心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している」と、日本心理学会が認定する資格です。申請にあたっては、日本心理学会が定める審査料・認定料計40,000円の費用がかかります。

●申請の条件と履修方法

本学で下表の条件を満たして単位修得し、卒業することで取得できます。卒業後、ご自身で日本心理学会に申請していただくことが必要です。

ただし、社会福祉学科で取得する場合は、卒業要件に含めることのできない科目があります。

認定心理士資格に関する科目 (科目名太字は福祉心理学科卒業のための必修科目)

科目	領域	本学の科目名	配当年次	履修方法	科目単位	本学での履修方法 (総計 36 単位以上修得)	
基礎科目	a 心理学概論	心理学概論 A	1 年以上	R or SR	2	2 科目 4 単位必修	
		心理学概論 B	1 年以上	R or SR	2		
	b 心理学研究法	心理学研究法 A	2 年以上	R or SR	2	2 科目 4 単位必修	
		心理学統計法	2 年以上	R or SR	2		
	c 心理学実験・実習		心理学実験 I A	1 年以上	SR	1	4 科目 4 単位必修
			心理学実験 I B	1 年以上	SR	1	
心理学実験 II A			2 年以上	SR	1		
心理学実験 II B			2 年以上	SR	1		
選択科目	d 知覚心理学・学習心理学	知覚・認知心理学	2 年以上	R or SR	2	d、f、g、h の 4 領域中 3 領域が各 4 単位以上で、 かつ 5 領域の小計が 24 単位 以上修得のこと	
		学習・言語心理学	2 年以上	R or SR	2		
	e 生理心理学・比較心理学	神経・生理心理学	2 年以上	R or SR	2		
		発達心理学	2 年以上	R or SR	2		
	f 教育心理学・発達心理学	発達臨床心理学	2 年以上	S	1		
		児童青年心理学	1 年以上	R or SR	4		
		老年心理学 A	1 年以上	R or SR	2		
		老年心理学 B	1 年以上	R or SR	2		
		教育・学校心理学 A (教育心理学)	1 年以上	R or SR	2		
		教育・学校心理学 B (学校心理学)	2 年以上	R or SR	2		
		福祉心理学	1 年以上	R or SR	2		
	g 臨床心理学・人格心理学	障害者・障害児心理学	2 年以上	R or SR	2		
		感情・人格心理学	2 年以上	R or SR	2		
		臨床心理学概論 I	2 年以上	R or SR	2		
		心理的アセスメント I	2 年以上	R or SR	2		
		心理学的支援法 I	2 年以上	R or SR	2		
		心理学的支援法 II	2 年以上	R or SR	2		
		司法・犯罪心理学	2 年以上	SR	2		
		カウンセリング I	1 年以上	S	1		
		カウンセリング II	1 年以上	S	1		
		カウンセリング演習 I	2 年以上	S	1		
		カウンセリング演習 II	2 年以上	S	1		
	h 社会心理学・産業心理学	健康・医療心理学	3 年以上	R or SR	2		
		社会・集団・家族心理学 A (社会・集団心理学)	1 年以上	R or SR	2		
		社会・集団・家族心理学 B (家族心理学)	1 年以上	R or SR	2		
		産業・組織心理学	2 年以上	R or SR	2		
人間関係論		1 年以上	S	1			
その他	i 心理学関連科目・卒業論文	卒業研究 (注)	4 年	卒業研究	(4)		

(注) 本学では「卒業研究」は 8 単位ですが、認定心理士認定委員会では 4 単位として認定するため、4 単位と表記しています。

※四年制大学既卒の方は、3 年次編入学または科目等履修生として入学し、上表の条件を満たせば、本学を卒業しなくても認定心理士の取得は可能です。

ただし、自身の責任において、日本心理学会のホームページなどで再度条件を確認のうえ、履修すべき科目の選択や資格申請をしてください。

※科目等履修生として出願する場合、履修方法が「SR」「S」の科目は入学後決められた時期に追加履修登録を行うことで履修が可能です (授業料、スクーリング受講料、ならびに別途手数料 1,000 円が必要です)。

※スクーリング開講予定は p.25 ~ 28 を参照してください。

2 福祉心理士 取得希望の方へ

●福祉心理士とは

日本福祉心理学会が認定する資格であり、「福祉サービスを利用する人のアセスメントを行ったり、サービス利用者やその家族、そして、そこで働く職員の福祉心理相談・支援を行ったりするうえで専門家として求められる基礎学力と技能を修得している」と、日本福祉心理学会が認定した方のことです。認定の際、日本福祉心理学会が行う筆記試験が実施される予定で審査料20,000円、認定料10,000円も必要です。また、日本福祉心理学会員となり5年ごとに資格更新のための審査を受ける必要があります。

●申請の条件と類型

大学で取得する際は、下記【A類型】で指定科目を履修する方法が一般的ですが、社会福祉施設等での実務経験を3年以上有している場合は【B類型】での取得も可能です。

【A類型】 大学で指定科目を下表の履修方法に従って**合計32単位以上を修得**し、卒業（社会福祉学科でも福祉心理学科でも可）した方。ただし、指定科目の一部が未履修の場合、科目等履修生としての単位修得も可です。

【B類型】 申請時において、すでに社会福祉施設等での実務経験を3年以上有しており、大学（または日本福祉心理学会が開催する研修会）で、①「心理学」、②「福祉心理学」もしくは「臨床心理学」、③「社会福祉学」、④「心理査定法」、⑤「カウンセリング（心理相談）」もしくは「心理療法」、⑥「発達心理」もしくは「児童心理」もしくは「障害者の心理」もしくは「高齢者の心理」、⑦「社会福祉援助技術」の必修指定科目7科目について各2単位以上を修得した方。

日本福祉心理学会認定 福祉心理士に関する科目（本学の科目名太字は福祉心理学科必修科目）

領域	指定科目名	本学の科目名	配当年次	履修方法	科目単位	履修方法 (合計32単位以上修得)
基礎科目	心理学	心理学概論A	1年以上	R or SR	2	合計6単位以上を単位修得のこと
		心理学概論B	1年以上	R or SR	2	
	福祉心理学	福祉心理学	1年以上	R or SR	2	
	社会福祉学	社会福祉原論	2年以上	R or SR	4	
心理学 関係科目	臨床心理学	臨床心理学概論 I	2年以上	R or SR	2	4科目以上履修し、合計12単位以上を単位修得のこと
	心理査定法	心理的アセスメント I	2年以上	R or SR	2	
	カウンセリング（心理相談）	カウンセリング I	1年以上	S	1	
		カウンセリング II	1年以上	S	1	
	心理療法	心理学的支援法 I	2年以上	R or SR	2	
	発達心理	発達心理学	2年以上	R or SR	2	
	児童心理	児童青年心理学	1年以上	R or SR	4	
	障害者の心理	障害者・障害児心理学	2年以上	R or SR	2	
高齢者の心理	老年心理学A	1年以上	R or SR	2		
社会福祉学 関係科目	相談援助（社会福祉援助技術もしくは精神保健福祉援助技術）	精神保健福祉援助技術総論 I	2年以上	R or SR	2	「相談援助」より1科目必修、合計12単位以上を単位修得のこと
		社会福祉援助技術総論	2年以上	R or SR	4	
	社会福祉学関係	精神保健福祉の理論	2年以上	R or SR	2	
		精神保健福祉のサービス	2年以上	R or SR	2	
		精神保健福祉援助技術各論	2年以上	R or SR	2	
		児童・家庭福祉論	1年以上	R or SR	4	
		高齢者福祉論	1年以上	R or SR	2	
		障害者福祉論	1年以上	R or SR	4	
		知的障害者福祉論	2年以上	R or SR	2	
		社会福祉援助技術論A	2年以上	R or SR	2	
社会福祉援助技術論B	2年以上	R or SR	2			
医療・保健係 科目	精神医学	精神医学	3年以上	R or SR	4	履修する必要はないが、履修した場合の扱いは*参照
		精神疾患とその治療 I	3年以上	R or SR	2	
		精神疾患とその治療 II	3年以上	R	2	
	リハビリテーション論	リハビリテーション論	2年以上	R or SR	2	
	精神保健学	精神保健学	2年以上	R or SR	4	

*心理学関係科目のうち2科目4単位、および社会福祉関係科目のうち2科目4単位の計4科目8単位については、医療・保健関係科目（精神医学、リハビリテーション学、精神保健学）をもって代替できる。

認定心理士
取得希望の方へ

福祉心理士
取得希望の方へ